



アジア初の MTS(Maintenance Training Service)導入！ 日本航空技術協会「奨励賞」受賞について

ソラシド エア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長 高橋 洋)は、アジア地区の航空会社では初となる整備訓練システム MTS(Maintenance Training Service)を導入した実績に対し、社団法人日本航空技術協会から「奨励賞」を受賞いたしました。同賞は、航空の技術・安全・品質の発展に資する活動及び航空技術者の育成に寄与する事を目的としたものです。当社として同協会からの受賞は初めてとなります。

当訓練システムは「バーチャル・ツアー」(※1)「ILCBT」(※2)「SPCBT」(※3)「訓練レベルに応じた最新の訓練資料」等、自学自習で理解度を効率よく上げる事ができる洗練された訓練教材であり、効果的な訓練の実施が可能となります。

ソラシド エアではこれからも安全な運航をお客様へご提供するための取り組みを、全社をあげて行ってまいります。



(受賞した整備本部スタッフ)

- ※1 バーチャル・ツアー :3D デジタルを駆使し、コンピュータの画面上にて航空機内部にいるように360 度見渡す事ができるソフトで、各種計器・部品の位置を学習できる。
- ※2 ILSBT : INSTRUCTOR LED CBT の略で、航空機の各システムの動きをアニメーションで表示し、わかりやすく解説した教材。
- ※3 SPCBT : STUDENT PACED CBT の略で、航空機の故障探究のための手順をマニュアルを用いて探しあてる教材。

以上

スカイネットアジア航空株式会社